

【公表】児童発達支援 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日：2025年1月25日				
事業所名		01	02	03	04	05
児童発達支援事業	1 利用定数や児童発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	6				
	2 利用定数や子どもの状態等に対して、職員の出発前には適切であるか。	6				
	3 生活定数は、子どもにわかりやすく掲示されているか。	4	2			
	4 生活定数は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。	6				
	5 必要に応じて、子どもが個別の課題や順序を使用することが認められる環境になっているか。	6				
	6 事務作業を進めるためのPC・タブレット(情報端末)を取り取りに、広く職員が活用しているか。	6				
	7 保護者向け評価表により、保護者の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8 職員の見学等を受け入れる機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	2		
	10 職員の業務の向上を図るために、研修を実施する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1			
児童発達支援事業	11 適切な研修プログラムが作成、公開されているか。	6				
	12 日々のことに対してアセスメントを適切に行い、子どもや保護者のニーズや課題を適切に対応した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者が担いでなく、子どもの支援に関与する職員が共通理解の下で、子どもの課題や課題を話し合いが行われているか。	6				
	14 児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15 子どもの進捗状況の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマットやシステムや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなシステムを運用する機会を確保しているか。	6				
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家庭支援」、「移行支援」及び「地域連携・地域連携」のいずれもが支援内容に明記されているか。	5	1			
	17 長期的な支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	18 活動プログラムが標準化し、より工夫しているか。	6				
	19 子どもに対して、個別活動と集団活動を適切に合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6				
	20 個別活動時には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日に行われる内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6				
児童発達支援事業	21 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行った支援の振り返りを行い、良い点や課題を共有しているか。	6				
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6				
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の進捗の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6				
	24 児童発達支援事業所のサービス提供委員会や関係機関との会議に、そのことについてよく理解した者が参加しているか。	6				
	25 地域の保健、医療（生活支援や医療機関等）、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制が整っているか。	6				
	26 併行利用や併行利用した支援を行うなど、インテグレーション推進の取組が実施されているか。	5	1			
	27 就学前の移行の際には、小学校や特別支援学校(小・中学校)との間で、支援内容の共有や連携が図られているか。	4	2			
	28 (3歳～3歳半、メンターの役割)					
	29 地域の他の児童発達支援センターや児童発達支援センター等と連携を取り、地域全体の課題に取り組む取組を行っているか。					
	30 向上を図るため、積極的に専門機関や関係機関から協力を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
児童発達支援事業	31 (国・自治体) 児童発達支援センターの子育て会議や関係機関に参加しているか。					
	32 (3歳、事業所の役割)					
	33 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてサービスや活動の連携を実施しているか。	1	3	2		
	34 保護者や児童、地域、関係機関との交流や、地域の中で働くことと活動する機会があるか。	2	4			
	35 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
	36 家族の対応の向上を図る観点から、家族に対して支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加を促す機会や個別支援を行っているか。	6				
	37 課題把握、支援プログラム、利用者の状態について丁寧な説明を行っているか。	6				
	38 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の個別の得意、ことばや課題の特性の理解を踏まえて、子どもや保護者の状態や課題を踏まえているか。	6				
	39 「児童発達支援計画」を話し合う支援内容の取組を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6				
	40 定期的に、当該等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や必要な支援を行っているか。	6				
児童発達支援事業	41 父母の会の活動を実施することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の取組を行っているか。	1	3	2		
	42 子どもや保護者からの相談や声かけに対して、対応の体制を整備することや、子どもや保護者に相談し、相談や声かけがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6				
	43 定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、連絡等を行う機会、連絡先等の提供を子どもや保護者に対して発信しているか。	6				
	44 個人情報や機密に十分配慮しているか。	6				
	45 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や理解促進のための取組を行っているか。	6				
	46 事業所の行事や活動に保護者や関係機関等、地域に開かれた事業実施を行っているか。	3	2	1		
	47 電話対応でマニュアル等を策定し、電話や来客等に活用することや、発生を想定した訓練を実施しているか。	6				
	48 業務継続計画(BCP)を策定することや、非常災害の発生に備え、定期的に訓練、評価の必要な取組を行っているか。	6				

49	事前に、役員や学級委員、てんかん発作等のことばを把握しているか。	6				
50	建物や広場のあり方について、避難の指図書に基づいて対応がとれているか。	5	1			
51	安全が確保でき、安全確保に必要な研修や訓練、その他必要な取組も実施しているか。	6				
52	子どもの発達支援に特して、事業所の関係が図られているか。	6				
53	ピアサポートや事業所内で共有し、関係機関に活用する方策について検討しているか。	6				
54	連携を促進するための、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を行っているか。	6				
55	どのような課題や対応を必要とするかについて、関係機関と連携し、子どもや保護者に事前に十分に説明した上で、児童発達支援計画に反映しているか。	6				

のびのび広場エムズは精進いたします。今後ともよろしくお願いたします。